

2/10 朝日

# 同居の濃厚接触者 発熱なら陽性97%

## 専門家会合で報告

新型コロナウイルスの感染者と同居する濃厚接触者で発熱がある人は、97%が検査で陽性だったという暫定結果を茨城県潮来保健所がまとめた。厚生労働省は同居する濃厚接触者に症状があれば、検査せずに医師の診断で「疑似症患者」（みなし陽性者）とするこ

とを認めており、裏付けとなるデータを示した形だ。  
9日とあつた同省の専門家組織の会合で示された。1月4～22日に発生届が出た感染者と同居する濃厚接触者で症状があつた107人を調べた。このうち、発熱があつた75人を検査すると陽性は97%にあたる73人。発熱のない32人では陽性は69%の22人だった。

調査では、発熱のある人は陽性である率が高く、「診断の確度は高い」と評価。一方、発熱がない人は陰性が約3割いるため、薬物治療や強い行動制限をするにはPCR検査などが必要だと指摘している。

またこの日の会合で、厚生労働省は、保健所の負担軽減案も発表した。医師が保健所に提出する感染者の発生病届について、「ただちに届け出ることが必要な項目を重点化」し、事務処理の効率化を図ることとした。案にもとづき、近く自治体に通知するといふ。業務負担を減らすことで、保健・医療の資源を高リスク者のケアに振り向ける狙いがある。

(市野塊、枝松祐樹)